

FDI (フル デジタル イノベーション) 誌上展示会 2020

メディアテクノロジー関連 WEB サイト情報

為ヶ谷 秀一

新型コロナウイルス (COVID-19) の影響により、多くのイベントや展示会が、休止または延期になっている。

インターネット上の WEB サイトでは、日々それぞれの企業や組織から、イベントの開催状況に関する情報と共に、新製品や新しい技術動向などについての最新情報が発表されている。

展示会やイベントで発表される情報を、インターネット上の WEB サイトと紙媒体である雑誌との連携を図る事によって、夫々が必要とする適切な情報の取得に活かす取り組みが求められて来ている。

各企業や組織にとって、本誌上での情報発信をサポートする場として、WEB サイトと連携する本誌の活用が期待される。

此处では、筆者の所に送られてきた e-mail や web 情報の中から、メディアテクノロジーに関連するトピックスをピックアップして紹介することとする。

2020年3月21日

「2020 NAB Show についての」 NAB CEO ゴードン・スミス氏より、3月21日、2020 NAB Show に関するメッセージが発表された。

「NAB は、COVID-19 の感染を食い止め、コミュニティの健康と安全を第一に考えることが私たちの責任であると考え、1週間前に4月のNABショーの開催を見送ると発表した。その後の状況は劇的に変化し続けている。現在の状況では、2020年

NAB Show の開催は不可能である。

このような状況の中で、二つの方向性を持って検討をしている。一つは、オンラインでの取り組みの方法を模索している。「NAB Show Express」と言うオンラインでの取り組みを、4月に開始する予定である。

二つ目は、10月に開催予定の「NAB Show New York」を強化することである。

これ等の詳細については、数週間後に発表する。

来年の NAB Show は、2021年4月11日から14日にラスベガスで開催する予定である。」

(関連するウェブサイト)

<https://nabshow.com/2020/attend/onsite-services/coronavirus-update-and-resources/>

2020年3月18日

「ACM (Association for Computer Machinery) が、2019年のチューリング賞を発表」

コンピュータ・サイエンスのノーベル賞と言われるチューリング賞 (ACM A.M. TURING AWARD) を、コンピュータ・グラフィックスのパイオニア：パット・ハンラハン氏とエド・カットマル氏が受賞すると、ACM (アメリカコンピュータ学会) が3月18日に発表した。

ACM (アメリカコンピュータ学会) は、

2019年のチューリング賞 (The ACM A.M. Turing Award) を、3D コンピュータグラフィックスソフトウェアの開発と、これらの技術による「Toy Story」を始めとするCGアニメーション映画製作などに大きく貢献したとして、パトリック・M・(パット)・ハンラハン氏 (Patrick M. Hanrahan) とエドウィン・E・(エド)・キャットマル氏が受賞すると発表した。チューリング賞を受賞する。エドウィン・キャットマル氏 (Edwin E. Catmull) はコンピュータサイエンティストであり、ピクサーとディズニー・アニメーション・スタジオの元社長である。また、ハンラハン氏は、RenderManなどのCGソフトウェアの開発に携わり、現在はスタンフォード大学コンピュータ・グラフィックス研究所の教授として後進の指導に当たっている。

1966年から始まったチューリング賞は、毎年1回表彰が行われ、現在はGoogle, Inc. の資金援助により100万USドルの報酬が与えられる。

2019年のチューリング賞は、2020年6月20日カリフォルニア州サンフランシスコで開催されるACMの年次 Awards Banquet (授章式) で授与される。

<https://amturing.acm.org/>

Hideichi Tamegaya
メディア・テクノロジー・コンサルタント

